

令和4年度  
学校評価報告書



都城市立山之口中学校

# 令和4年度 都城市立山之口中学校 学校評価（自己評価）

4 そう思う 3 どちらかと言えばそう思う 2 どちらかと言えばそう思わない 1 そう思わない

|                |    | 評価項目   | 評価（平均） |
|----------------|----|--|--------|
| 確かな学力の育成       | 1  | 生徒が授業の内容を理解しやすいように授業の改善・工夫に努めている。            | 3.1    |
|                | 2  | （教科担任者として）生徒の80%は「おおむね満足できる」学力を身に付けている。      | 2.7    |
|                | 3  | 家庭学習へのアドバイスをしたり、宿題の見届けを行ったりしている。             | 3.2    |
|                | 4  | 生徒は、よく読書をしている。                               | 2.3    |
|                | 5  | キャリア教育をとおして、生徒は自分の将来について考えている。               | 2.9    |
| 心の教育の充実        | 6  | 生徒は、自分から進んであいさつしている。                         | 3.1    |
|                | 7  | 生徒は、生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。                   | 3.5    |
|                | 8  | 生徒は、清掃や美化活動等の奉仕活動にすすんで取り組んでいる。               | 3.5    |
|                | 9  | 生徒は、思いやりや温かな人間関係を大切にする心が育っている。               | 3.5    |
|                | 10 | 生徒は、ルールやマナー（服装、身なり、時間など）を守って学校生活を送っている。      | 3.1    |
|                | 11 | 道徳の時間に、生徒は自分を見つめ、振り返ることができている。               | 3.2    |
|                | 12 | 生徒の相談に応じたり、生徒とのラポートづくりに努めている。                | 3.5    |
| 健康安全と<br>体力の向上 | 13 | 給食指導等において、食の大切さを意識させている。                     | 3.4    |
|                | 14 | 生徒は、部活動に真剣に取り組んでいる。                          | 3.2    |
|                | 15 | 生徒に、交通ルールやマナーの意識を高める指導をしている。                 | 3.2    |
|                | 16 | 避難訓練等で、生徒の防災意識が高まっている。また、危険箇所を放置せずに対策を講じている。 | 3.2    |
| 家庭地域<br>との連携   | 17 | 総合的な学習の時間等において、生徒と地域との関わりを持たせることができている。      | 3.4    |
|                | 18 | 教育活動や生徒の様子に関する情報を積極的に発信している。                 | 3.3    |
|                | 19 | 生徒の状況について、保護者との連携がよくとれている。                   | 3.5    |

令和4年度 都城市立山之口中学校 学校運営協議会委員評価報告書

① 確かな学力の育成

| 重点努力事項                  | 具体的取組  | 学校の自己評価結果コメント   | 学校運営協議会委員の評価コメント  |
|-------------------------|--|---|---|
| 基礎的・基本的な学習内容の定着を図るための取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1・2学年を対象に「学力向上テスト」を実施した。(5教科で年間1回ずつ範囲を決めてテストを実施し、満点者を表彰。)</li> <li>○ 「学習態度徹底週間」(2～3か月に1回)を設け、授業前の黙想、あいさつ、学習用具の準備など、基本的な学習習慣の徹底した指導と、教師の発問に対する反応や発表の向上を図った。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画的に実施することができた。努力しただけ点数に結び付き、称賛されることで、学習に対する意欲向上に繋がった。また、定期テスト内容と関連付けて作問することで学習内容の定着に役立てることができた。</li> <li>○ 学習委員会の生徒とともに、教職員が一体となって取り組んでいる。落ち着いた授業態度を生み出し、学習環境づくりに効果があった。委員会生徒を中心に、生徒達自身が「積極的な授業態度」を目指して授業態度改善に取り組んでいる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒たちの積極性が身に付いてきている。</li> <li>○ 生徒が落ち着いて授業を受けている。クラスの雰囲気もよい。</li> <li>○ しっかりと学習環境づくりがなされている。</li> <li>○ 先生方の取組が生徒にも伝わり、真剣に授業を受けている結果こつながっている。</li> <li>○ 学校も生徒も積極的に取り組んでいる。</li> <li>○ 先生方の尽力に感謝している。</li> <li>○ 1人1台の端末の利活用がすすめられているが、生徒一人一人の学習状況も把握でき、有効に活用してもらいたい。</li> <li>○ 廊下に貼り出してあるテストの成績について疑問を感じる。外部からの表彰者のみの掲示にしてはどうか。</li> </ul>  |
| 学習指導方法の工夫改善             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一人一台端末導入から2年目となり、各教科の授業においてタブレットを「使ってみる」段階から「効果的に活用する」段階へと職員の意識や技能が高められるよう、校内研修を計画的に実施した。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 昨年度から段階的にタブレット活用研修に取り組んできた。今年度も継続して研修を実施し、目的に応じた活用が図られるようになってきている。タブレットを使用する場面と、従来通りに紙媒体教材を用いて筆記用具で書かせる場面等の使い分けがなされてきている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習意欲の向上には、何よりも授業内容を理解させるために興味を持たせることが大切だと思う。</li> <li>○ ITを使った授業で生徒の世界も広がっていくと期待する。</li> <li>○ タブレットの活用で、知識や作業性を高めてほしい。</li> <li>○ タブレット活用は、これからの時代には必要になってきている。書かせると同時に技能を高めてほしい。</li> <li>○ 色々な場面で先生方の努力が伺える。「昔人」にはなかなか具体的実践方法について想像もできないが、これからの社会においては欠かせないものになるであろう。</li> <li>○ 書くことの大事さも忘れないよう指導してほしい。</li> <li>○ 紙ベースの学習も必要だ。</li> <li>○ 時代の流れを感じる。</li> <li>○ 生徒の評価も高く、先生方の尽力が伺える。</li> <li>○ 学習指導の改善により、生徒の評価が高い。</li> </ul> |
| 家庭学習の充実を図るための取組         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習・進路通信を発行し、学習や進路に関する情報を家庭向けに発信し、学力向上への意識を高めた。</li> <li>○ 定期テストや実力テストの際には、学習計画表を作成させ、学習に取り組ませた。</li> <li>○ 家庭学習におけるタブレットの活用を推進した。段階を踏んで家庭での使用法を指導し、生徒の判断で毎日持ち帰り、キュービナや教科担任の作成した課題に取り組んでいる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1年時から進路に関する情報に多く触れさせることで、1・2年時から、定期テストや実力テストの機会を大切にしようとする意識が高まってきている。</li> <li>○ 計画表作成や、テスト対策を兼ねた家庭学習を課すものの、学習が不十分な生徒も見られるため、各学級担任が個別に保護者と連携して指導にあたった。</li> <li>○ 家庭学習におけるタブレットの活用については、教科毎に効果を検証していく必要がある。テストや入学試験では「解答用紙に書く」解答方法であることを踏まえて生徒に指導している。また、常にタブレットを扱える環境にあるため、生徒の操作技能も向上している。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来の夢を語る場を設けて、目標を決め「何のために」学習が必要かを考えさせ、実行させることが大切。</li> <li>○ 学校の取組が十分になされていることが理解できた。家庭での取組が今後の課題だ。</li> <li>○ 保護者の意識の変容が大切だ。</li> <li>○ 学校と家庭の協力体制及び信頼関係が、取組に活かされることを願っている。</li> <li>○ 個別の学びが学力向上への意識の高まりにつながっている。</li> <li>○ 毎日のタブレットの持ち帰りで、全員が同じ環境で学習できるのは良い事と思うが、不適切な使用も気になる。学校と家庭との連携が大事だ。</li> <li>○ タブレットを利用することで、いろいろな知識を集得することができる。ただ、動画・ゲームに使用することも問題化しているので、家庭内での決まり事を保護者も考慮すべきだ。</li> </ul>                               |
| 読書指導の充実を図るための取組         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2学年では朝の読書週間を設定した。(1学年では3学期に実施予定)</li> <li>○ 図書委員会の活動の活性化を図るとともに図書館だよりを発行した。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読書週間を設定することで、普段自主的に本を読まない生徒も本を読む機会となった。「部活動や習い事で忙しく中々読書の機会がなかったが、改めて読書が好きだと感じた。」という生徒の声があった。</li> <li>○ 来館者や貸出冊数の増加につながるために、図書委員会の活動として、学期ごとに多読学級を表彰した。図書館だよりや新刊図書一覧表を配付することで図書への感心を高め、読書意欲を喚起できた。</li> <li>○ 左記二点に取り組んだものの、昨年度に引き続き学校評価アンケートでは、生徒・教職員・保護者ともに読書活動に満足していない結果が出ている。</li> </ul>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これから読解力はますます要求され、対人感情を理解する上でも、力を入れる項目だ。</li> <li>○ 文字を読み、文字も書けるようになってほしい。</li> <li>○ 図書委員会の活動で、一人でも多くの生徒が本に興味を持ってくれるとよい。</li> <li>○ 教師が、子どもたちに読書の大切さのためにやったことを伝える機会を多く持つことも大切だ。</li> <li>○ 課題を与え、読書を行うことも効果的な方策だと思う。動機付けが大切だ。</li> <li>○ スマホの時代になり、読書が億劫になりがちだ。定期的に読書の感想や本の紹介など発表の場を設けたらどうか。</li> <li>○ 短時間でもよいので、毎日の生活に読書の習慣を取り入れたら読むことにもっと興味が出てくるのではないかと。</li> <li>○ 読み聞かせの効果があれば、協力させてもらいたい。</li> </ul>                           |

【課題と改善策】

読書活動の充実が継続した課題となっている。今年度末までの更なる取組として、教育相談期間中の一斉読書タイムの実施と、教師の「おすすめの本」紹介コーナーの設置を計画している。

令和4年度 郡城市立山之口中学校 学校運営協議会委員評価報告書

② 心の教育の充実

| 重点努力事項                   | 具体的取組   | 学校の自己評価結果コメント   | 学校運営協議会委員の評価コメント   |
|--------------------------|---|---|--|
| 挨拶運動と生徒会活動の充実を図るための取組    | <ul style="list-style-type: none"> <li>各部活動や生徒会執行部による挨拶運動と小中連携のあいさつ運動を実施した。</li> <li>生徒会活動(委員会活動・生徒会行事)の充実を図った。</li> <li>今年度は、感染状況が落ち着いた時期に、高齢者への花配り活動を実施した。また、昨年度実施した、高齢者への年賀状配付にも取り組んだ。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくり協議会主催の小中連携あいさつ運動は前期(5月)と後期(11月)の2回に分けて実施した。1回目は雨天で実施ができなかったが、2回目は3日間とも実施することができた。小中学生が一緒に大きな声であいさつすることができた。</li> <li>民生委員の支援・協力をもらい、7月に「花配り活動」12月に「年賀状作成」に取り組み、一人暮らしの高齢者の方々に送る活動ができた。地域の方からお礼の電話や年賀状が届き、生徒自身もよい体験ができたこと実感している。</li> <li>生徒数の減少に伴い、「花配り活動」、「年賀状作成」が年々難しい状況になってきている。また、花の栽培、管理などに見直しをもった計画が必要とされる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>これからも地域と取り組んでほしい。</li> <li>色々な形で地域と共に活動してもらっていることに感謝している。</li> <li>まちづくり協議会のあいさつ運動で、中学校に参加したが、全体的にあいさつが良くてきていた。</li> <li>あいさつ運動、花配り活動、年賀状作成など、生徒の取組は素晴らしいものがあり、さすが山中の生徒だと感じている。</li> <li>花配り活動は準備等大変だと思うが、頑張っていて欲しい。大変喜んでいます。</li> <li>花配り活動は、ニュースでも取り上げられるほどの良い行いだと思う。近所の高齢者も本当に喜び、保護者である私にまで御礼にきて頂いた。</li> <li>登下校中の生徒が明るくあいさつしてくれる。これからもあいさつ運動を続けてもらいたい。</li> <li>生徒会だけではなく、PTAや協議会等も含めて行っても良いのではないかな。</li> <li>花配り、年賀状作成は続けてほしい。花の栽培に興味のある地域の方の活用も解決策になるのではないかな。</li> <li>あいさつ運動はとても良くできている。通学時や普段の生活にも十分生かしてほしい。</li> </ul>  |
| 環境美化の充実を図るための取組          | <ul style="list-style-type: none"> <li>清掃の仕方や手順を職員・生徒ともにしっかりと確認した。特に、無言清掃を重点事項として取り組んだ。</li> <li>安全点検を計画的に実施し、校内の破損箇所などを早急に修繕するようにした。</li> <li>特定の職員で除草作業等を実施している。</li> <li>生徒会の環境委員会の生徒を中心に花壇の整備に取り組んだ。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>今年度も無言清掃を重点事項として取り組み、清掃が静かに始められ、ほとんどの生徒が時間いっぱい無言で取り組むようになってきている。</li> <li>生徒会からの要望、職員の安全点検により、修繕力所は早めの対応を心がけた。</li> <li>PTA美化作業は実施できなかったが、保護者の厚意で個別に環境整備をしていた。また、普段の学校の環境整備については特定の職員で実施している状況である。</li> <li>生徒会環境委員会の取組として、花壇の花の植え替えや除草を行い、生徒の環境美化への意識を高めることができた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>清掃で心の豊かさも育んでいる。</li> <li>学校生活で安全に過ごせるのは環境の美化活動ができているからなので、これからも修繕箇所があれば優先的にやしてほしい。</li> <li>生徒数の減少でPTAの数も少なくなってきており、美化作業の在り方、外部の方の活用も考えていく必要を感じる。○少子化等により、学校の環境整備も年々難しい状況だと思う。PTAや協議会も含め、行ってもよいのではないかな。</li> <li>環境整備については、少子化や保護者の働き方の多様化もあり、だんだん難しくなっている。地域への協力依頼も検討してほしい。</li> <li>学校もまだまだ整備されていない箇所がたくさんある。市からの援助も必要だと思う。</li> <li>環境整備はボランティア団体等に協力を依頼してもよいのではないかな。</li> <li>花壇の手入れ等、可能であれば地域団体のみならず、個人のボランティアも受け入れてはどうかな。</li> </ul>  |
| いじめ防止・人権教育・道徳教育の充実のための取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修を実施した。</li> <li>定期的にいじめ・不登校対策委員会週1回)を開いた。</li> <li>教育相談やいじめ等の生活アンケートを実施し、いじめ等の早期発見の体制をとった。また、今年度はアンケートの回数を増やし、タブレットによる回答ができるような手立てをとった。</li> </ul>                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>長期休業中の研修で、人権教育、道徳教育などの各種研修を実施し、教職員の人権意識の高揚や生徒への対応の仕方など資質向上に努めた。</li> <li>定期的にいじめ・不登校対策委員会を開き、生徒の状況を把握し早期対応を行うことができた。なお、問題が解消しても、継続して様子を観察するよう留意している。</li> <li>定期的な教育相談を中心にいじめ等の生活アンケートを実施しながら、いじめ等の未然防止、早期発見・早期対応の体制をとった。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートからも先生に相談しやすい環境が作られている。</li> <li>悩みを聞いてもらえる人が近くにいるというアンケートの結果は素晴らしい。</li> <li>常識と思われていることが、人権やいじめにつながっていないかなを十分考えられる子どもに育ってほしい。</li> <li>研修を開催するなどして、問題点を生徒全体で共有してほしい。</li> <li>問題解決のために早めの対応が必要だ。</li> <li>一括りでは難しいところです。</li> <li>生徒は次々に変わり、集団も変化してくるので、いじめ問題はこれからも無くならないと考える。何か問題が出たときも、それは「冰山の一角」であると思う。継続的な指導が求められる。</li> <li>私は、全ての相手に対して『思いやり』を持つように心がけている。しかし、感情の変化で中々持てない時があり、その場の感情任せで発言してしまったり、行動に出たりしてしまう。生徒たちは小さな学校社会の中で、色々なものを学習し、人生の方向性を見据える大切な時期であり、また、思春期もあったりと大変な時期を過ごしていると思う。そのような社会の中で、先生方も本当に大変だと思う。先生方もストレスを貯めこまないようPTA役員とも連携を密に取り、より良き山之口中運営作りをしていきましょう。</li> <li>人の意見を聞く力、自分の意見を伝える力を付けて、人としての交流を深めてもらいたい。</li> </ul> |

【課題と改善策】

- あいさつは年々良くなっており、地域等より高い評価をいただいている。今後とも生徒会を中心に自主的活動を促し、さらに良くなるようにしていきたい。
- 生徒数の減少に伴い、今後、「花配り活動」、「年賀状作成」が難しい状況になってくると予想される。先を見通した計画が必要となってくる。
- いじめについては、外部人材を活用した研修会や講演会などを実施したり、学校運営協議会委員のアドバイスを取り入れたりして、人権学習のさらなる充実を図りたい。教職員は引き続き、日頃から生徒とのレポートづくりに努め、いじめ等の未然防止、早期発見・早期対応をしていきたい。
- 生徒数の減少に伴い、職員数及び保護者数も減少していく中で学校の施設規模は変わらない。そのような状況で環境を維持していくのは困難である。業者に依頼するにも予算的に厳しい状況である。

## 令和4年度 都城市立山之口中学校 学校運営協議会委員評価報告書

### ③ 健康安全と体力の向上

| 重点努力事項             | 具体的取組  | 学校の自己評価結果コメント  | 学校運営協議会委員の評価コメント  |
|--------------------|--|--|---|
| 健康・安全教育の充実を図るための取組 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安全点検を定期的に実施した。</li> <li>○ 外部人材を活用した性教育の授業を実施した。</li> <li>○ 救急処置の研修を実施した。</li> <li>○ 新型コロナ感染症対策については毎日の予防を徹底してきた。</li> <li>○ 学校保健委員会を実施した。</li> <li>○ 新体力テストの結果を受け、改善点を明確にし、それについて取り組んだ。</li> <li>○ 全ての部活動において、担当職員の熱心な指導のもと円滑に運営できた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 2ヶ月に1回、職員による点検を行うことができた。可能な箇所は職員で修繕した。</li> <li>○ 性教育は、1学年で「いのちの大切さについて」2学年で「生命誕生」に関する題材で、外部人材を活用して実施することができた。3学年は3月に「デートDV」を題材に実施する予定である。</li> <li>○ 消防署職員による救急処置の研修を夏休みに実施することができた。</li> <li>○ 朝の健康観察や欠席連絡にGoogleフォームを活用した。未入力の生徒へ指導を行い、入力徹底を図った。</li> <li>○ 3学年とその保護者を対象に「ストレスとのつきあい方」について本校スクールカウンセラーによる講話を行った。</li> <li>○ 休休みに、全校生徒で遊ぶ日や学年ごとに体育館を開放して運動できるようにした。楽しく身体を動かすことが定期的に行うことができた。</li> <li>○ 日々の運動の習慣化に向け、各個人にあった運動への取り組みを実施させる必要がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 性教育の授業を参観して時代の変遷を実感した。確かな知識を持たせることが大事だと思った。</li> <li>○ 性教育の授業、とても素晴らしいと思った。家庭では話題にしづらいことも専門の先生の話聞くことで大切さを理解できる。</li> <li>○ 1年生の性教育を参観し、しっかりとした教育をしていると感じた。今後とも、心身共に成長するよう取り組んでほしい。</li> <li>○ コロナ禍ではあるが、体を動かすことはとても大事なことだ。一人一人の個人差があり指導はとても難しいと思うが、引き続き指導をお願いしたい。</li> <li>○ 「安全教育」「性教育」「コロナ対策」「体力促進」等、教師の業務量は確実に増加している。しかし、いずれも大切なことなので、頑張って取り組んで欲しい。</li> <li>○ 「遊ぶ日」の時間は継続してほしい。</li> <li>○ きちんと時間を区切った部活動は良い。</li> <li>○ 部活動における外部コーチについて、都城市の見解はあるのか。</li> </ul>  |
| 危機管理意識の高揚          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 避難訓練を実施した。</li> <li>○ スマホ・ケータイの使い方やルールづくりについて保護者への啓発を行った。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地震・火災について、避難訓練を実施することができた。今後は危機管理マニュアルを確認しながら、職員の動きの研修と確認を行っていききたい。</li> <li>○ 生徒に対しては薬物乱用防止教室で啓発を行った。保護者に対しての啓発は保健だよりなどを活用した。3学年の技術の時間に情報モラルに関する内容を学習した。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自助・共助・公助の大切さを理解する機会を与えてほしい。</li> <li>○ いつ起こるか分からない災害に備えて訓練は必要だ。生徒・職員の意識を高めて引き続き啓発活動をお願いしたい。</li> <li>○ いつくるか分からない災害に対して、訓練はとても大切であり、様々な想定も必要だ。</li> <li>○ 避難訓練に対する意識の高さを感じる。</li> <li>○ 避難訓練は、繰り返して身に付く。</li> <li>○ 防災訓練を実施することにより、災害に備えることが大切と考える。昨年台風14号で3日間停電となり、いろいろ不自由を受けた。被災後のシュミレーションの学習も必要だ。</li> <li>○ 危機管理意識が自然災害的なものだけではないことを体験させることが理想である。</li> <li>○ 登下校時の自転車運転のあり方、危険箇所を避けての道順指導など、絶えず取り組んで欲しい。</li> <li>○ SNS等を通じての性犯罪も報道されている。スマホの使用については、生徒だけでなく保護者の指導も必要だ。</li> <li>○ スマホ等のルール作りは家庭との連携が大事。保護者への啓発は良い事だ。</li> <li>○ PTA総会や各種活動で、PTAとしてモラルやマナーの大切さを呼びかけたい。</li> </ul> |
| 食育の推進              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化発表会の当日に弁当の日を実施した。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ステップを6段階に分け、無理なく弁当づくりができるよう家庭に依頼した。栄養素やレシピなどについても「お弁当の日通信」に載せ、弁当づくりの参考にしてもらった。親や食材への感謝の心を育ませることができた。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食の大切さを知る機会を続けてほしい。</li> <li>○ 弁当づくりを体験させることで、食の大切さを気づかせることができる。今後も継続して欲しい。</li> <li>○ 特別な弁当でなくてもよいので、おにぎりの日等、回数をもう少し増やしてはどうか。</li> <li>○ 生徒も家庭も教師もあれこれ大変だ。</li> </ul>  |

#### 【課題と改善策】

- 来年度は、外部機関・外部人材の活用を図りながら、情報モラル教育の充実を図る。
- 危機管理マニュアルをもとに職員の研修の充実を図り、いざというときに生徒が安全に行動できるようにしていきたい。
- 体力テストの結果より
  - ・特に改善が必要とされる種目は、握力、20mシャトルラン、ハンドボール投げである。
  - ・改善点への取組（教科体育の時間以外）としては、体育館内にトレーニング器具を設置し、自主的に活動できる環境作りを努め、部活動と連携して持久力に繋がるトレーニングを実践していきたい。

令和4年度 都城市立山之口中学校 学校運営協議会委員評価報告書

④ 家庭地域との連携

| 重点努力事項                       | 具体的取組  | 学校の自己評価結果コメント  | 学校運営協議会委員の評価コメント   |
|------------------------------|--|--|--|
| <p>学校からの積極的な情報発信を充実させる取組</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期的に学校だより、学年通信、学級通信を発行した。</li> <li>○ 学校教育活動の様子をホームページで発信した。</li> <li>○ 学校運営に関することは、シグフィー（学校保護者間連絡ツール）で保護者へ知らせた。</li> </ul>                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 定期的に、学年や学級、各担当職員から学校の情報を発信できた。学校外へは、学校ホームページで幅広い方々を対象に情報を発信できた。</li> <li>○ シグフィーを活用し、大雨時の対応や行事実施に関する連絡等をタイミングよく発信できた。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大変良い取組だ。</li> <li>○ ホームページなど、よく発行している。</li> <li>○ 情報発信が丁寧になされ、ホームページも充実しており、素晴らしい。</li> <li>○ 昨年よりもさらに更新回数が増え、保護者としても学校の様子が分かり安心できる。</li> <li>○ 丁寧なHPで学校の様子がよくわかる。保護者には安心感を与えていると思う。</li> <li>○ これからも学校ホームページを活用してほしい。</li> <li>○ 学校の様子がよくわかり、毎回楽しみにしている。</li> <li>○ 地域の方にはHPを見られない方も多いので、コロナが落ち着いたら学校だよりを回覧してほしい。</li> <li>○ 安心・安全メールやホームページを活用させてもらっている。毎回の発信は大変だと思うが、引き続きお願いしたい。</li> </ul>  |
| <p>地域行事への積極的な参加と交流に関する取組</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域の行事への参加を呼びかけた。</li> <li>○ 花祭り活動と年賀状作成で高齢者の方々と交流した。</li> <li>○ 地域の公共施設等の清掃活動を行った。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、地域との交流の機会が減っている。また、休日の行事への参加は、部活動との調整が難しくなった。</li> <li>○ 弥五郎どん祭りでは、浦安の舞、太鼓持ち、巫女として参加することができた。</li> <li>○ 民生児童委員の方たちに協力していただき、花祭り活動と年賀状作成で地域の高齢者と交流することができた。</li> <li>○ 社会福祉協議会の協力により、1学年がシルバーヤングふれあいの里の清掃活動を行った。</li> <li>○ 2月に山之口総合運動公園の工事状況の見学に行く予定。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 諸活動への積極的な参加に感謝している。</li> <li>○ コロナ禍でも「参加」を前提に行事等に協力してもらった。</li> <li>○ 山之口には、人形争鬺璃、弥五郎どん祭り、花ノ木あげ馬など、伝統文化が伝わっている。地域の行事に積極的に参加し、地域を知ってもらいたい。</li> <li>○ 弥五郎どん祭りで、生徒たちの参加を見ることができた。</li> <li>○ 山之口中の生徒は、地域との交流が積極的に行われているので、機会があれば調整しながら今後も参加してほしい。</li> <li>○ 地域の伝統行事を支えるために中学生にも積極的に参加してほしい。学校全体にそういう雰囲気があることが大事だ。</li> <li>○ 山之口地区の郷土芸能が幾つかあるが、少子化により小学生だけでは参集できない現状にある。今後は小学生から中学生も含めた取組への移行をお願いできないか。</li> <li>○ 小学校の運動会で、以前のように中学生の頑張る姿を早く見たい。</li> <li>○ 地域の意見要望に対し、学校側がストレスがない（溜まらない）ようにしていきたい。</li> </ul>  |
| <p>地域人材の活用に関する取組</p>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 年2回のキャリア教育集会で地域の方に講話をしていただいた。</li> <li>○ 職場体験学習で、商工会に事業所を紹介していただき、地域内で体験活動を行うことができた。</li> <li>○ 3年生の福祉教育において、地域の社会福祉協議会の方々に協力をいただいた。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新型コロナウイルス感染防止のため、限られた取組ではあったが、地域の方々の協力をいただき、充実した活動が実施できた。</li> <li>○ キャリア教育集会を次年度から年1回とする。（11月開催。7月の体育館でのキャリア教育集会は、健康管理の面から実施しない。）また、内容の充実のため、講師は、地域の方と地域外の方とを隔年で依頼する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々な方に協力をいただきながら、山之口中生を育てていきたい。</li> <li>○ 諸活動への積極的な参加に感謝している。</li> <li>○ キャリア教育集会の回数が思うように出来なかったが、充実した内容であった。今後も地域人材を生かした取り組みをしていきたい。</li> <li>○ キャリア教育集会では、いろいろな方の話が聞けて、とても参考になる。</li> <li>○ キャリアデザインの観点からもこれらの取組は大切なものである。</li> <li>○ 生徒に興味ある職種等のアンケートを実施してはどうか。</li> <li>○ キャリア教育集会は社会にはいろいろな職業・仕組みがあることを理解する上で有効と考える。</li> <li>○ キャリア教育集会の準備等学校側の負担になっているのではないかと。内容について、生徒の希望を生かしたい。</li> <li>○ キャリア教育集会は、自分たちの将来を考える良い機会になると思うので、年2回はあった方がよいと思う。1回は行政より、1回は広く人材を募ってはどうか。実行にあたっては、運営協議会へ仕事を振っても良いと思う。</li> <li>○ 職場体験学習が実施できて良かった。キャリア教育集会も含めて、自分の将来を考えるよい機会になって欲しい。</li> </ul> |

【課題と改善策】

- 生徒会の活動として、文化委員会で学校新聞を作成し、地域の方々に見ていただけるようにしていきたい。
- 学校ホームページは、さらに幅広い方々を対象に情報を発信できるように、また、分かりやすいように工夫をしていきたい。
- キャリア教育集会の講師について選定を進め、早めの講師確保に努める。
- コロナ禍ではあるが、今後とも地域の伝統文化継承活動・地域行事等への積極的な参加と交流を図っていきたい。